

よつば



ご卒業おめでとうございます

PTA 会長 大澤 一

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

令和五年度は高等部六名、中学部六名、小学部二名、幼稚部五名の合計一九名が卒業と聞いています。今年度はコロナ禍が収束し活動制限が解除され、色々な事が動き始める年度となりました。皆さんは制限されて辛かった時期を乗り越え、活動できるありがたさを知ったと思います。次のステージではさらに積極的に活動し、自身の夢をさらに広げて頂きたいと思っています。

校長先生をはじめ、先生方、そしてPTA会員の皆様、今年度のPTA活動に御理解・御協力を頂き、ありがとうございました。今年度は皆さんから御意見を多く聞き、PTA活動を再確認するよう今年になりました。時代が変化していく中で、PTA活動も少しずつ内容・形を変えていく必要があります。PTA活動の基盤を固めつつ時代に合わせた活動としていくことが、より良い聾学校へと向かう一つの手段だと思っています。今後も変化を恐れない、むしろ変化を楽しめるPTAであって欲しいと思います。

最後に群馬県立聾学校のますますの御発展を心より願っております。

自分の夢や目標に向かって

校長 岡田 明子

令和五年度は、様々な活動を再開することができました。元通りではなく、コロナ禍を経て再考しました。学習発表会の一一般の参加者はホームページからの事前申込みとし、生徒主体で取り組めるよう支援してきました。全体にかかわることは、高等部や中学部の生徒会役員を中心に話し合いや準備をしました。議論の中で、学習発表会に名前を付けたいという意見が多くあり、話し合いや投票の結果、「群聾祭」となりました。また、幼

稚部から高等部が協力して「手形アート」に取り組みました。高等部の生徒が下絵を準備し、素敵な翼が完成しました。ステージ発表の合間に手形アートのメイキングビデオも上映し聾学校の皆が力を合わせて作り上げたことを保護者や来校者に見ていただけました。今年の高等部や中学部の文集を読むと、群聾祭での発表やダンスを作り上げるまでの生徒一人一人の熱い思いが、多く書かれていました。学校行事に向けて、それぞれにドラマがあり、そこから多くを学んだことが伝わってきました。小学部や幼稚部の子供たちは、教師の支援を受ける部分もありつつ、「ダンスをカッコよく踊りたいから、休み時間も練習したよ」とか「気持ちを込めてセリフを話したよ」などの感想がありました。発達段階に応じて主体的に取り組めたことを嬉しく思います。

今年、高等部を卒業する六名の皆さんは、それぞれが願う進路を実現し、巣立っていきます。進路先の会社や学校は、人生のゴールではなく、社会生活のスタートです。二年後、四年後どんな社会人になりたいか、夢や目標をもって毎日を過ごしてほしいと思います。目標に向けて取り組むことは、今年の学期ごとの始業式や終業式で、覚えてたの手話を交えて皆さんに伝え続けてきました。目標を実現するためには、何をいつまでにするのか、自分の頭で考えて実行する必要があります。群聾祭を成功させ、進路決定を果たした自分を信じて、次の目標を決めて走り出してほしいと思います。

保護者の皆様には、学校の教育活動に御理解御協力をいただき、ありがとうございます。これからも、子供たちが主体的に活動し、社会に羽ばたけるような聾学校でありたいと思います。引き続きの御支援をよろしくお願いいたします。



PTA講演会

群馬大学医学部附属病院言語聴覚士



小原 透 先生



十一月二十二日(水)小原透先生をお迎えして「言語獲得とその先を見据えて」という演台で講演会を開催しました。たくさん感想を頂きました。



参加者からの感想

- ◎大変勉強になる講演会でした。子どもの自立に向けて、まだ早いと思わず今からできることを意識してやっていきたいと思いました。
- ◎聞きにくい子供達にとって、耳だけではなく、ことばを道具に使い、自立、自律ができるようになったら、自分の人生がよくわかり、人生の計画を立て、自分がどのような生活をするか、周りの家族、環境も大切なことは、よくわかりました。ありがとうございます。
- ◎子供が成長するにつれ段々と自立が出来るように、自立自律支援は今から出来る事が沢山あると、改めて考えることができました。
- ◎手話通訳者は外部に依頼したほうが良いと思います。
- ◎難聴児を育てるに当たっての大切な話を聞けてよかったです。

PTA手話教室



十月三十一日(火)手話教室を実施しました。沢山の方向けに参加していただきました。

参加者からの感想

- ◎テーマをくじ引きで選ぶのが良かった。楽しく会話でき、新しい表現も学ぶことができた。
- ◎自由に質問できたり、お話をしながら学べたので良かったです。手話を使って会話をする機会がなかなかないのでいい時間をもてました。
- ◎もう少し回数を増やして欲しい。人によって表現方法が違って勉強になりました。
- ◎日常で使える単語を教えてもらえて良かった。テーマがあったので話題に困らずスムーズに進めて良かった。
- ◎生活場面を役割演技にして手話、身振りを表現できたらもっとわかりやすく理解できるかなと思いました。





十月二十日(金)、二十一日(土)「群鷲祭(学習発表会)」が開催されました。コロナが5類となった今年度は、人数制限はありましたが、御家族以外の来校者も迎えての実施となりました。子どもたちは、ステージ発表や作品展示、販売、交流などで、日頃の学習の成果を発揮することができました。

「群鷲祭」特集

各部のステージ発表より



リズム



幼稚部



たんぽぽダンス



リズムでは跳んだり走ったり、指先までピンと伸ばして体を動かすことができました。ダンスでは「たんぽぽ！」と大きな掛け声で、みんな元気いっぱい。舞台背景の垂れ幕のたんぽぽと綿毛は子どもたちの作品でした。

小学部



小学部1~3年生
劇「大きなかぶ」手話ダンス「やってみよう」



小学部4~6年生
劇「ももたろう」ダンス「新時代」

「大きなかぶ」の劇をしました。練習を重ねて、それぞれの役割の特徴を表現できました。そして、種から立派に育った「かぶ」をみんなで力を合わせてぬきました。最後は楽しく、全員でWANIMAの「やってみよう」の手話ダンスをしました。

ゲーム風にアレンジした「桃太郎」の劇をしました。最後は、荒らした畑をみんなで直すという、あたたかいストーリーに仕上がりました。ダンス「新時代」は何度も練習し、指先まで綺麗にそろった最高のダンスになりました。



中学部



手話ダンス

HANDSIGN の「僕が君の耳になる」の手話ダンスを発表しました。本番では感情を込めて表現することができました。



劇 「聾学校 あるある」

日常の学校生活の中で、聾学校と地域の学校との違いをコミカルに表現しました。会場からの反響に生徒は手応えを感じることができました。

高等部

ダンスメドレー



高等部はダンスメドレーを発表しました。生徒たちが選曲し、全体の流れや紹介文を考えました。お客様に曲のイメージが伝わるよう練習を重ねて取り組みました。

※ 各学部、寄宿舎、地域支援部の展示の様子はホームページで紹介しています。ぜひ御覧ください。

編集後記
今年度一回目のPTA新聞(第309号)を無事発行することができました。
記事や感想をお寄せいただいた皆様、御協力ありがとうございました。

PTA文化部役員一同



こんにちは
とむは20さいになりました。
げんきにすごしています。
みなさん、ありがとうございます。
吹野 斗夢

卒業生の吹野斗夢さんが、二十歳を迎えました。聾学校で過ごした日々を糧に、これからも元気に過ごしてください。この度は、本当におめでとうござります。

二十歳

おめでとうござります